

科研費の種目とその審査体制（25年度）

研究種目等	研究種目の目的・内容	新規応募 件数/採 択件数	第1段(書面) 審査	第2段(合議) 審査	審査結果の 開示
科学研究費					
特別推進研究	国際的に高い評価を得ている研究であって、 格段に優れた研究成果をもたらす可能性の ある研究 (期間3～5年、1課題5億円程度を応募総 額の上限の目安とするが、上限、下限とも制 限は設けない)	112 / 15 (ヒアリング 実施数は採択 件数の2倍程 度)	13～26名からなる 3小委員会の委員 が書面審査 国内外の研究機関 に所属する審査意 見書作成者(各3名)が審査意見書等 を作成 審査委員(合議審 査委員と同一)が ヒアリングを行う 研究課題を選定	審査・評価第一部 会に置く3小委員 会(56名)でヒア リングを実施し、 合議 審査・評価第一部 会に置く運営小委 員会(11名)にお いて、採択研究課 題を決定	応募者全員に、委 員会における審査 結果の所見を開示
新学術領域研究 ※	(研究領域提案型) 研究者又は研究者グループにより提案され た、我が国の学術水準の向上・強化につな がる新たな研究領域について、共同研究や研 究人材の育成等の取り組みを通じて発展させ る (期間5年、単年度当たりの目安1領域 1 千万円～3億円程度)	—	15～25名程度から なる4委員会の委 員が書面審査 審査意見書作成者 (各3名)が審査意 見書等を作成 審査委員(合議審 査委員と同一)が ヒアリングを行う 研究領域を選定	15～25名程度から なる4委員会 でヒアリングを 実施し、合議 審査部会におい て、採択研究領 域・課題を調整・決定	全ての応募領域に 対して審査結果の 所見を開示
基盤研究	(S) 1人又は比較的少人数の研究者が行う 独創的・先駆的な研究 (期間原則5年、1課題5,000万円以上 2 億円程度まで) (A) (B) (C) 1人又は複数の研究者が共同 して行う独創的・先駆的な研究 (期間3～5年) (応募総額によりA・B・Cに区分) (A) 2,000万円以上 5,000万円以下 ◎(B) 500万円以上 2,000万円以下 ★(C) 500万円以下	(S) 585 / 87 (ヒアリング 実施数は採択 件数の2倍程 度) (A) 2,300 / 541 (B) 10,205 / 2,523 (C) 33,871 / 10,127	(S) 6名の審査委 員(合議審査委員 と異なる)が専門 的見地から実施 ・5段階の絶対評価 (A) (B) (一般) 6名の審査委員(合 議審査委員と異な る)が専門的見地 から実施 ・5段階の相対評価 (A) (B) (海外学 術調査) 16～20名からなる 4小委員会の審査 委員が書面審査 ・5段階の相対評価 (C) 4名の審査委 員(合議審査委員 と異なる)が専門 的見地から実施 ・5段階の相対評価	(S) 審査・評価第 二部会に置く15小 委員会(155名)で ヒアリングを実施 し、合議 審査・評価第二部 会に置く運営小委 員会(17名)にお いて、採択研究課 題を決定 (A) (B) 審査第一 部会に置く運営小 委員会(24名)及 び23小委員会(438 名)で合議 (C) 審査第二部会 に置く運営小委員 会(25名)及び24 小委員会(438名) で合議	(S) ヒアリング実 施者全員に、委員 会における審査結 果の所見を開示。 不採択者のうち審 査結果の開示を希 望する者に、第1 段審査の4段階の 評定要素につい て、不十分と評価 された項目の定型 所見を開示 (A) (B) (C) 第1 段審査の4段階の 評定要素につい て、不十分と評価 された項目の定型 所見を開示
挑戦的萌芽研究	独創的な発想に基づく、挑戦的で高い目標設 定を掲げた芽生え期の研究(期間1～3年、 1課題 500万円以下) ★	13,865 / 3,582	4名の審査委員(合 議審査委員と異な る)が専門的見地 から実施 ・総合評点を4段階 の絶対評価で付す とともに、総合評 点の最上位の研究 課題について2段 階の相対評価(A A:上位5%、A: 上位6～25%)を実 施	審査第二部会に置 く運営小委員会 (24名)及び23 小委員会(438名) で合議 ・第一段審査にお いて最上位の研究 課題に付された相 対的な2段階評価 の結果を重視しつ つ合議	第1段審査の4段 階の評定要素につ いて、不十分と評 価された項目の定 型所見を開示

若手研究	(A) (B) 39歳以下の研究者が1人で行う研究 (期間2～4年、応募総額によりA・Bに区分) ◎ (A) 500万円以上 3,000万円以下 ★ (B) 500万円以下	(A) 1,779 / 394 (B) 20,330 / 6,079	(A) (B) 4名の審査委員(合議審査委員と異なる)が専門的見地から実施 ・5段階の相対評価	(A) 審査第一部会に置く運営小委員会(24名)及び23小委員会(438名)で合議 (B) 審査第二部会に置く運営小委員会(24名)及び23小委員会(438名)で合議	第1段階審査の4段階の評定要素について、不十分と評価された項目の定型所見を開示
研究活動スタート支援	研究機関に採用されたばかりの研究者や育児休業等から復帰する研究者等が1人で行う研究 (期間2年以内、単年度当たり150万円以下)	3,645 / 908	4名の審査委員(合議審査委員と同一)が専門的見地から実施 ・5段階の相対評価	審査第三部会に置く運営小委員会(9名)及び8小委員会(220名)で合議	第1段階審査の4段階の評定要素について、不十分と評価された項目の定型所見を開示
奨励研究	教育・研究機関の職員、企業の職員又はこれら以外の者で科学研究を行っている者が1人で行う研究	3,876 / 712	2名の審査委員(合議審査委員と同一)が書面審査 ・3段階の相対評価	奨励研究部会に置く運営小委員会(4名)及び3小委員会(90名)で合議	(不採択者に、審査希望分野における書面審査結果のおおよその順位を開示)

注1) ※印の研究種目の審査・交付は文部科学省が行っている。

注2) ★印の研究種目(基盤研究(C)、挑戦的萌芽研究、若手研究(B))のうち、平成23年度以降に新規に採択された研究課題については、「学術研究助成基金助成金」(基金化)により実施している。

注3) ◎印の研究種目(基盤研究(B)、若手研究(A))のうち、平成24年度に新規に採択された研究課題(以下、「科研費(一部基金分)」という。)については、「学術研究助成基金助成金」(基金化)により実施している(研究費総額のうち500万円以下)。

日本、米国、英国、ドイツのファンディングエージェンシーにおける審査体制の比較

	米国 (NSF)	米国 (NIH)	英国 (MRC)	ドイツ (DFG)	日本 (科研費)
資金 総額	研究及び関連予算 約 5,689 億円 (約 56 億 8,900 万ドル) (2012 年度)	約 1 兆 6,489 億円 (164 億 8,900 万ドル) うち R01 型 Grant 約 1 兆 1,022 億円 (約 110 億 2,186 万ドル) (2012 年)	約 1,304 億円(約 £ 766.9 m) (2012/13 年) うちボトムアップ分約 569 億円 (£ 334.6m)	DFG 全プログラム予算 約 3,748 億円 (26 億 7,690 万ユーロ) うち個人 Grant 約 1,291 億円 (9 億 2,240 万ユーロ) (2012 年)	約 2,318 億円 (平成 25 年度)
年間 審査 件数	約 4 万 9 千件	約 5 万 1 千件	約 2,000 件	約 1 万 3 千件 (個人 Grant)	約 10 万件
審査 の 流れ と 仕 組み	<p>※どのような審査体制を採用するかは、プログラムディレクターの裁量に任されている。</p> <p>プログラムオフィサーは、数十万件のレビューアー候補者データベースに加え、個人の知識、申請者が提案する者、ジャーナル等の情報に基づきレビューアーを選定。審査の延べ件数は約 19 万件 (約 46,000 件の申請を平均 4.1 人がレビュー) 一般には以下のいずれかの方法によりレビュー。</p> <p>○メールレビュー ・ 1 課題あたり 3 名以上のレビューアーが評価 ・ 対象となった申請件数は約 2,600 件</p> <p>○パネルレビュー ・ 対象となった申請件数は約 30,700 件 ・ 遠隔会議システム等を利用した仮想パネルの場合もあり</p> <p>○メールとパネルの併用レビュー ・ メールとパネルの双方により行われるレビューで対象となった申請件数は約 12,900 件</p> <p>・ 無償でレビューを行う。</p> <p>○プログラムオフィサーが採否の案を作成。 (上位のプログラムディレクター等が承認。)</p>	<p>①スタディ・セクション ・ セクション数: 170 ・ 審査員総数: 約 1,700 名。 ・ 1 セクション 20~30 名の審査員。 ・ 1 セクションで審査される研究計画書は 50~120 件。各研究計画書の審査は 3 名の審査員で審査 (primary, secondary, discussant と役割が割り当てられる)。審査員毎に割り当てられる研究計画書は 10 件前後。 ・ 審査員の任期は 4 年。 ・ チェアマン (概ね 4 年目の審査員) が議事運営を担当。 ・ 審査員のほか、科学評価官、研究所のプログラム・ディレクター等が参画。 → Grant 採択候補者リストの作成。 ※スタディ・セクションによってはメールレビューが行われる場合もある。</p> <p>②各研究所における顧問会議 (advisory council) (二次審査) ・ 顧問会議の数: 27 (= 研究所数) ・ 評価者の数: 約 480 名 → Grant 採択候補者リストの作成。</p> <p>③各研究所長が採否を決定。</p>	<p>①予備審査 一国内外の専門家による審査 ・ 一申請書当たりの審査者: 3 名以上 ・ 審査員総数: 約 18,000 名 (約 7,500 名は国内機関、約 10,400 名は国外機関所属) ・ 審査者の意見を踏まえて委員長・副委員長が本審査対象リストを作成</p> <p>②本審査 一委員会における合議審査 ・ 委員会数: 大 4 (小 12 で構成) ・ 委員数: 約 200 名 ・ 審査に先立ち、審査対象者は予備審査時コメントに対して意見表明可。同意見は委員会開催前に委員に届けられる ・ 一回約 40 件を審査 ・ 審査対象と近い専門分野の委員 2 名が審査を主導 ・ 採否は予算を持つ委員会毎に決定 ・ 成功率 20~25% ※審査後、非審査者は審査の理由を受領</p>	<p>①ピアレビュー ・ 国内外の各分野の専門家 (ピアレビューアー) による申請書類の審査。 ・ プログラムディレクターが各プログラムの審査をピアレビューアーに依頼。 ・ ピアレビューアーはステートメント (意見) を提出。 ・ ピアレビューアーは年間約 1 万名。無償で行う。 ・ 各申請について通常 2 名のレビューアーが評価。</p> <p>②レビューボードによる審査 ・ 学会等から選出されたメンバーで構成。 ・ レビューボードの数は 48、ボードの委員数は 606 名。 ・ ピアレビューアーは適切に選出されたか、及び①で提出されたステートメントの内容について審査し、採択候補案件を選定。</p> <p>③ DFG 合同委員会 (Joint Committee) による審査 ・ DFG 評議会、及び連邦政府、州政府、ドイツ科学人文振興寄付者協会の代表者計 39 人により構成される合同委員会において採否の決定を行う。</p>	<p>①書面審査 ・ 審査員の数: 約 4,300 名 ・ 細目の数: 319。 ・ 1 つの細目に 4~6 名の審査員 → 評点 (5~1) 及びコメント</p> <p>②委員会等における合議審査 ・ 委員会の数: 49 ・ 委員会は 9~30 名で構成。 ・ 主査が議事運営を担当。 ・ 審査員のほか、学術調査官 (27 名) 等が参画。 → 書面審査の結果に基づき、広い立場から総合的に審議。</p> <p>③審議会 (科学研究費補助金審査部会) において議決</p>
審査 支援 組織	プログラムオフィサー (常勤): 497 名		MRC Research Programmes Group: 17 名 (RCUK Shared Services Center Ltd が支援)		学術システム研究センター 主任研究員 (非常勤): 19 名 専門研究員 (非常勤): 103 名 (男性 109 名; 女性 13 名) (平成 25 年度)

※NIH 予算は総額約 3 兆 852 億円、研究プロジェクト Grant 全体では 1 兆 6,489 億円。このうち R01 は約 3 分の 2 を占める。

※1 ドル=100 円、1 ポンド=170 円、1 ユーロ=140 円で換算。

諸外国における研究助成体制について

	米国	米国	英国	ドイツ																											
機関名	○ 国立科学財団(NSF)	○ 国立保健研究所(NIH)	○ 研究会議(the Research Councils)	○ ドイツ研究振興協会(DFG)																											
(1) 主な機能	研究助成、教育及び人材育成、研究設備・施設の整備	研究助成及び研究実施	研究助成、研究奨励	研究助成、議会等への科学的助言																											
(2) 設置形態	連邦の独立機関	国立	執行型非省庁公共機関	民法上の公益法人(大学、公的研究所、アカデミー、他の協会といった会員で構成) ※ 会員となっている各組織の代表者によってGeneral Assemblyが構成されており、ここにおいて、DFGの運営方針の決定や、理事長・副理事長、Senate(DFGの戦略立案部門)の選任、DFG新会員の決定等を行っている。																											
(3) 所管官庁	—	保健・衛生省(Department of Health and Human Services)	ビジネス・イノベーション・技能省(BIS)																												
(4) 人数	約2,100人 (PO:497人(さらにその内、研究機関からの短期任用研究者:239人))(2012年) ※ 多数の専門職員を置いているが、これは個々の研究グラントの審査をプログラムオフィサーが中心に審査・採択を実施	18,000人以上 (うち研究者6,000人)	RC全体(7機関)で約12,000人	約750人(うちPO:118人)(2010年)																											
(5) 主要財源	連邦政府補助金	主に連邦政府補助金	国庫支出金、国庫補助金	連邦政府助成金、州政府助成金等																											
	(資金配分総額)約70億3,310万ドル(約7,033億円)(FY2012) ※ 米国は10月から新年度予算開始(内訳)80%:研究助成 10%:教育及び人材育成	(予算総額)約309億ドル(約3兆852億円)(FY2012予算) ※ 米国は10月から新年度予算開始(内訳)50%:研究プロジェクトグラント 10%:NIH内の研究所へ配分 10%:事務経費	(予算総額)RC全体(7機関)で25億5,000万ポンド(約4,335億円)(2010年) ※MRCの予算規模は、7億6,700万ポンド(約1,304億円)(2012年)	(予算総額)26億7,700万ユーロ(約3,748億円)(2012年)																											
(6) 事業実施分野	基礎研究を中心とした科学・工学全分野(医学以外)。医学以外の全ての研究分野に対する支援を行っている唯一の連邦機関。	生物医学	英国の基礎研究における主要な助成機関。7つの分野ごとの研究会議(1.芸術・人文科学分野、2.バイオテクノロジー・生物科学分野、3.工学・自然科学分野、4.経済・社会研究、5.医学、6.自然環境研究、7.科学技術施設)と、これらによって構成される英国研究会議(RCUK)で構成。	人文・社会科学、自然科学の全分野																											
(7) 事業内容	1. 研究助成:56億8,900万ドル(総予算の80%) 件数:約1万件超(申請数:4万超、採択率:25%前後) 申請者:研究者個人または少数のグループ 受給者:主任研究者の所属する大学等 研究の性格:研究者の自由な発想に基づく研究 選定方法:ピア・レビュー(NSF職員と複数の外部審査員による) 選定基準:すべてのグラントに共通して、知的メ리트と幅広いインパクトを基準として採択 資金の種類:公募の際、対象となる研究テーマを特定するグラントとしないグラントがある。また、研究経費を初年時に一括して支給する基本グラントと、各年次に支給する継続グラントがある。NSFから資金提供を受ける大学等公私立の機関は全州にわたり、2,000機関を超える。 2. 教育及び人材育成:8億2,900万ドル 新しい科学技術分野を担う人材の養成と、次世代の教育のために有能な教師の育成を重視し、義務教育以前から大学院教育以降までわたる、科学と工学の教育を支援 3. 研究設備・施設の整備:1億9,700万ドル 大型の研究施設・設備について、ロードマップを策定して計画的に支援(例:電波望遠鏡、南極の観測サイト、超高速ネットワーク環境、海洋観測船、重力波観測設備)	1. 研究助成:254億6,700万ドル(総予算の約83%) 5万件の競争的資金を全州と海外の大学等の研究者30万人以上に配分。内外の科学者、物理学者、生物医学界有識者による厳格なピア・レビューシステムを採用。NIHの外部研究部門(Office of Extramural Research)がNIHの資金配分に必要な企画・管理運営を担っている。主に研究者個人の自主性に基づく研究を支援する「グラント」と、国家的重要課題を研究機関に委託する研究契約である「コントラクト」の2種類に分類できる。 2. 研究実施:30億3,100万ドル(総予算の約10%) 傘下の研究所において研究を行う。(27の研究・センターを直轄。) ※ 1.のグラントと2は厳格に区別されており、傘下の研究所はファンディング対象となり得ない。	各研究会議でプログラムは異なるが、主として、研究者の自由な発想に基づく研究への助成、研究奨励金や研究奨励金による研究者養成を行っている。また、BBSRC(バイオテクノロジー・生物科学研究会議)、MRC(医学研究会議)、NERC(自然環境研究会議)、STFC(科学技術施設研究会議)は傘下に研究所を有しており、自ら研究活動も実施している。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>研究会議名</th> <th>分野</th> <th>予算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RCUK(英国研究会議)</td> <td>各研究会議の横断的な取組(研究支援、訓練、知識移転、国民間での促進)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>AHRC (芸術・人文科学研究会議)</td> <td>歴史、言語学、英語、フランス語、他語、哲学、古典、芸術、ドラマ、ダンス、音楽、デザイン</td> <td>122,523千ポンド</td> </tr> <tr> <td>BBSRC(バイオテクノロジー・生物科学研究会議)</td> <td>農薬食品、畜産学、生化学、細菌生物学、生物分子学、工学・生物システム、遺伝子・発生生物学、植物・樹木生物学</td> <td>464,976千ポンド</td> </tr> <tr> <td>EPSRC (工学・自然科学研究会議)</td> <td>材料、機械、医療技術、情報通信技術、数理科学、物理学、プロセス、環境、持続性</td> <td>796,624千ポンド</td> </tr> <tr> <td>ESRC (経済・社会研究会議)</td> <td>経済、教育・人材開発、環境・計画、行政・法律、産業・雇用、社会問題</td> <td>195,369千ポンド</td> </tr> <tr> <td>MRC(医学研究会議)</td> <td>ヘルスサービス、パブリックヘルス、感染・免疫、分子細胞病理、神経科学、メンタルヘルス、薬理・薬学、クリニカルサイエンス</td> <td>728,794千ポンド</td> </tr> <tr> <td>NERC(自然環境研究会議)</td> <td>大気、地球、地球観測、海洋、局地方、考古学、淡水・陸地</td> <td>433,657千ポンド</td> </tr> <tr> <td>STFC(科学技術施設研究会議)</td> <td>大型施設を利用した研究(天文学、オーロラ、計算機科学、エネルギー研究、環境、超伝導材料、核物理学、素粒子物理学、中性子科学、宇宙科学)</td> <td>641,870千ポンド</td> </tr> </tbody> </table>	研究会議名	分野	予算	RCUK(英国研究会議)	各研究会議の横断的な取組(研究支援、訓練、知識移転、国民間での促進)		AHRC (芸術・人文科学研究会議)	歴史、言語学、英語、フランス語、他語、哲学、古典、芸術、ドラマ、ダンス、音楽、デザイン	122,523千ポンド	BBSRC(バイオテクノロジー・生物科学研究会議)	農薬食品、畜産学、生化学、細菌生物学、生物分子学、工学・生物システム、遺伝子・発生生物学、植物・樹木生物学	464,976千ポンド	EPSRC (工学・自然科学研究会議)	材料、機械、医療技術、情報通信技術、数理科学、物理学、プロセス、環境、持続性	796,624千ポンド	ESRC (経済・社会研究会議)	経済、教育・人材開発、環境・計画、行政・法律、産業・雇用、社会問題	195,369千ポンド	MRC(医学研究会議)	ヘルスサービス、パブリックヘルス、感染・免疫、分子細胞病理、神経科学、メンタルヘルス、薬理・薬学、クリニカルサイエンス	728,794千ポンド	NERC(自然環境研究会議)	大気、地球、地球観測、海洋、局地方、考古学、淡水・陸地	433,657千ポンド	STFC(科学技術施設研究会議)	大型施設を利用した研究(天文学、オーロラ、計算機科学、エネルギー研究、環境、超伝導材料、核物理学、素粒子物理学、中性子科学、宇宙科学)	641,870千ポンド	大学及び公的研究機関の支援、研究者間の協力・交流支援、若手研究者の支援、議会への助言などを行っている。主なファンディングプログラムは、以下のとおり。 1. 個人研究助成プログラム 博士課程を修了した研究者に対して、1~3年間個人研究プロジェクトへの助成 2. 共同研究センタープログラム 分野融合研究や大学以外の研究機関との共同研究を行うために設立された大学研究施設における研究への助成 3. 優先領域プログラム 特定のトピックスやプロジェクトの共同研究や調整への助成 4. 若手研究者支援プログラム ポストドクからの早期独立の支援や優秀な研究者への長期支援 5. 研究トレーニンググループ 分野の異なる研究グループや海外の研究者コミュニティとの共同研究や研究交流を通じて教育・研究を実施する大学への支援 6. 科学賞 有能な研究者や市民に対する研究成果の普及に貢献した研究者の表彰を行う。 ※ その他、ネットワークの構築、大学図書館や情報センターも含めた研究設備や機器の整備、産学連携の場の提供等の支援も実施している。 DFGの戦略立案は、基本的に研究者コミュニティにより行われる。戦略を立案する部門には、SenateとJoint Committeeがあり、前者は政策及び重点プログラムを決定する部門で、マックスプランク学術振興協会の理事長や大学協会の理事長等39名の研究者や学者で構成される。後者は、決定された戦略に基づき、予算等をより詳細に決定する機関で、Senateのメンバーに加え、連邦政府、州政府の代表から構成される。
研究会議名	分野	予算																													
RCUK(英国研究会議)	各研究会議の横断的な取組(研究支援、訓練、知識移転、国民間での促進)																														
AHRC (芸術・人文科学研究会議)	歴史、言語学、英語、フランス語、他語、哲学、古典、芸術、ドラマ、ダンス、音楽、デザイン	122,523千ポンド																													
BBSRC(バイオテクノロジー・生物科学研究会議)	農薬食品、畜産学、生化学、細菌生物学、生物分子学、工学・生物システム、遺伝子・発生生物学、植物・樹木生物学	464,976千ポンド																													
EPSRC (工学・自然科学研究会議)	材料、機械、医療技術、情報通信技術、数理科学、物理学、プロセス、環境、持続性	796,624千ポンド																													
ESRC (経済・社会研究会議)	経済、教育・人材開発、環境・計画、行政・法律、産業・雇用、社会問題	195,369千ポンド																													
MRC(医学研究会議)	ヘルスサービス、パブリックヘルス、感染・免疫、分子細胞病理、神経科学、メンタルヘルス、薬理・薬学、クリニカルサイエンス	728,794千ポンド																													
NERC(自然環境研究会議)	大気、地球、地球観測、海洋、局地方、考古学、淡水・陸地	433,657千ポンド																													
STFC(科学技術施設研究会議)	大型施設を利用した研究(天文学、オーロラ、計算機科学、エネルギー研究、環境、超伝導材料、核物理学、素粒子物理学、中性子科学、宇宙科学)	641,870千ポンド																													

※ 1ドル=100円、1ポンド=170円、1ユーロ=140円で換算

※科学技術・学術審議会学術分科会(第39回)の資料を基に、日本学術振興会作成